

支え合いのまちづくり サミットIN倉敷



【第1部】

全体基調講演 13:05~14:00
「さまざまな支え合いのカタチ
～みんなちがってみんないい～」

【第2部】

地区別分科会 14:15~15:30

●日時 令和4年3月27日(日) 13:00~15:30

●会場 ・玉島会場:玉島テレビ放送たまテレホール ・倉敷会場:くらしき健康福祉プラザ5階プラザホール
・水島会場:水島公民館第1・第2会議室 ・児島会場:倉敷ファッションセンターイベントホール

主催 社会福祉法人 倉敷市社会福祉協議会
倉敷市高齢者活躍推進地域づくりネットワーク会議

こ も く し

第1部 全体基調講演

「さまざまな支え合いのカタチ～みんなちがってみんないい～」・・・1

※資料は別紙参照

講師：一般社団法人Wellbe Design

理事長 篠原 辰二氏

第2部 地区別分科会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

・倉敷会場「共生社会の実現へ新たな気づきを新たな築きへ」

進行役：社会福祉士 佐藤 伸隆氏

発表者：社会福祉法人創心福祉会パントリー平田

株式会社創心會

トーヨド支え合いネットワーク

NPO法人こうのさと

植田 貴也氏

坂本 健二氏

古畑 和三氏

中村 聡良氏

・水島会場「多世代・多機関参画による担い手の活躍」

進行役：倉敷市社会福祉協議会

発表者：就労移行支援事業所irodori所長

おやカンパニー代表

松岡 武司

佐藤 将一氏

松江 亜美氏

・児島会場「子どもたちをみんなで支えるまちへ」

進行役：川崎医療福祉大学 講師

発表者：大正橋こども食堂 代表

副代表

直島 克樹氏

原田 香織氏

伊藤 幸汰氏

・玉島会場「居場所から広がる地域づくり」

進行役：一般社団法人Wellbe Design理事長

発表者：TAMAYATAMASHIMA

天理教もたえのさと分教会

チームオレンジちょこっと亭

篠原 辰二氏

齊藤 智美氏

原田 義浩氏

臼倉 公子氏

○ 日程表 ○

時 間	内 容
12:30	受付
13:00	開会 あいさつ
13:05	第1部 全体基調講演 「さまざまな支え合いのカタチ～みんなちがってみんないい～」
14:00	休憩
14:15	第2部 地区別分科会（パネルディスカッション）
15:30	閉 会

第1部

全体基調講演

さまざまな支え合いのカタチ
～みんなちがってみんないい～

：講師：

一般社団法人 Wellbe Design 理事長
篠原 辰二氏



■ 全体基調講演 講師略歴 ■

一般社団法人 Wellbe Design 理事長

篠原 辰二 氏

◆ プロフィール ◆

北海道内 2 つの市町で社会福祉協議会職員として 14 年勤務。地域の特性を踏まえた各種の地域福祉事業や地域防災事業経験を踏まえ、地域住民と共に創る福祉のまちづくりを展開している。

災害発生時には、災害ボランティアセンターの運営支援や福祉支援の構築にあたり、平成 30 年 7 月豪雨災害では倉敷市にも赴任した。日本福祉教育・ボランティア学習学会特認理事、北海道地域福祉学会理事兼事務局長、札幌市立大学・日本福祉大学・北海道医療大学・北星学園大学非常勤講師、コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do 主任研究員、千歳市行政評価会議アドバイザー。社会福祉士。防災士。道都大学社会福祉学部卒。1976 年生れ。北海道伊達市出身。

第2部

地区別分科会





商店街の空き店舗を活用した 「中間支援」の取り組みについて

TAMAYA TAMASHIMA
齊藤智美（合同会社モッコ）

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

1

周辺環境（玉島の商店街について）



TAMAYA TAMASHIMAが建つ清心町商店街は、玉島の中心地に位置する。玉島は江戸時代には北前船の寄港地として栄え、昭和の高度成長期のころには羽黒神社を中心に6つの商店街があり、連日数多くの人で賑わった。毎月第2日曜日には「備中玉島みなと朝市」と銘打って、各商店街が連携しイベントを開催しているが、普段は人通りも少なく、完全なシャッター街と化している通りもある。

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

2



2022/03/27

TAMAYA TAMASHIMAについて

合同会社モッコ

倉敷市玉島中央町3-13-33

(清心町商店街内)

沿革

- 2016年12月 元洋品店「玉屋」を譲り受ける。
- 2017年 8月 セルフリノベーションの傍ら、アートセンターとして運用を開始。
- 2019年 4月 ギャラリーサイトウファインアーツ(横浜)の拠点を玉島に移転。
- 2021年 4月 「サロン・ド・タマヤ」プロジェクトの「井戸端食堂」を発足。

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

3

アートセンター(合同会社モッコ)としての TAMAYA TAMASHIMA



アーティスト・イン・レジデンス事業

東京藝術大学
(小沢剛研究室 夏合宿)

2017年7月



音楽ライブ

渋さ知らズオーケストラ
(渋さ知らズLIVE@TAMAYA
TAMASHIMA)

2018年10月



ダンス公演

太めパフォーマンス
(浮き上がらないあぶく)

2019年4月



展覧会・WS等

深田絵里個展
(ギャラリーサイトウファイン
アーツ/横浜)

2019年3月

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

4

TAMAYA TAMASHIMAの2つの役割

合同会社モッコとしての「ミッション」



芸術分野で活動する人達に対し、作品制作および発表の場を提供する。

(アーティスト・イン・レジデンス事業他)

生活者としての「地域への関わり方」



商店街という地の利を活かして、新しいコミュニティのあり方を模索する。

(サロン・ド・タマヤプロジェクト)

場を提供することで、活動したい人達を支援すること＝中間支援

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

5

生活者としての TAMAYA TAMASHIMA

サロン・ド・タマヤ プロジェクト

井戸端食堂

偶然居合わせた人たちが、一緒に食事することで時間を共有。集められた「食品ロス」食材を用いて、調理をする。

「みんなで楽しく、つくって食べる」を基本方針とし、全員がそれぞれに役割をもって参加を促す。



2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

6

井戸端食堂について(はじめたきっかけ)



地域課題としての「新たなコミュニティの構築」を考えていたタイミングで、子ども食堂の運営を計画しているグループから2019年相談を受けた。

同時期に、社会福祉協議会が行う「互近助パントリー」の拠点化・事業系食品ロスの受け入れなど、定期的に食材を調達できるルートを確保。提供を受けた食品を活用すべく、実験的に食事会を開催した。

(子ども食堂については、話し合い続行中)

あえてターゲットを特定しないことで、「誰もが」参加しやすい環境づくりを心がけている。

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

7

井戸端食堂について(感想・問題点など)

参加者の感想

- ・「〇〇君のママ」ではなく、名前で呼んでもらえることがうれしい(40代/女性)
 - ・猫に会えて楽しい(小学生/女子)
 - ・普段食べない味付けのものが食べられるので、楽しみにしている(80代/女性)
- 参加者それぞれに、新しい関係性ができた。

効果

- ・活動を知って、ご近所の方が野菜をくれるようになった。
 - ・手作りのおかずやおやつを参加者同士でやり取りする機会が増えた。
 - ・参加者が自ら別の人を誘って参加してくれるようになった。
- 回を重ねることで、問題点が明確になり、周りの人に助けを求めることができるようになった。

問題点

- 1) 人的支援の問題
 - ・会場の準備や片付けの人手不足。
 - ・イベント当日のフォロー体制。
- 2) 開催時間の問題
 - ・参加したいが、曜日・時間の都合がつかない。
- 3) 資金的な問題
 - ・継続するために必要な財源の確保。

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

8

井戸端食堂について(関係機関との連携)



学校

- ・市立玉島高等学校
- ・作陽大学

先生を通じて、生徒が**課外学習**という枠組みで参加。



行政

- ・社会福祉協議会
- ・高齢者支援センター

高齢者を対象とした「ふれあいサロン」の開設や、「健康教室」の開催の助言等。



民生委員など個人

- ・民生委員
- ・スクールソーシャルワーカー

実際に参加・体験した上で、様々な理由で**支援が必要な家族や生徒**に直接働きかける。

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

9

今後について (2022年度事業計画)

合同会社モッコ

1)「商店街の家庭科室(ニューブラジル)」の実現

TAMAYA TAMASHIMAの隣の建物「純喫茶ブラジル」を改修して、キッチンを中心としたハブ施設を新たに作る。

2)アーティスト・イン・レジデンス事業の実施

アーティスト以外にもキュレーターやリサーチャーが、今後の活動に必要なリサーチをする際の支援を行う。

サロン・ド・タマヤ

1)井戸端食堂の継続

毎月第5水曜日(もしくは第5金曜日)に実施

2)ふれあいサロン「たまさろん」開始

毎月第2水曜日の午後に実施

井戸端食堂のスキームを提供し、参加者が自由にグループを作って実施できるよう支援する。

3)互近助パントリーの継続

現在不定期開催のため、定期開催を目指す

2022/03/27

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

10



2022/03/27

ありがとうございました

合同会社モッコ
代表社員 齊藤智美

倉敷市玉島中央町3-13-33
TAMAYA TAMASHIMA
info@moccollc.co.jp
<https://www.facebook.com/tamaya.tamashima>

商店街の空き店舗を活用した「中間支援」の取り組みについて

11

子ども食堂あおぞらの取り組み



天理教もたえのさと分教会
代表 原田 義浩

はじめに ～天理教もたえのさと分教会の活動～

- ・養育が必要な子どもへの支援
NPO法人GRAPESのファミリーホームでの
里親の活動。
- ・保護が必要な人への支援
自立準備ホームの活動や、倉敷西エリアの
保護司が集う事務所として、場の提供も
行っている。

乙島東地区ってどんなところ？



子ども食堂をやろうと思ったきっかけ



約4年前…
ニュースやフェイスブックなどで
子ども食堂がひろがっているの
を知っていた。



地域の役に立つために
まずやってみようと思った！

まずやってみた！



「おかえり子ども食堂」



しかし…

突然のコロナ禍で活動がストップ…



- ・今できることはあるのかな？
- ・お母さんはコロナ禍で外食がしにくいから、家でご飯を作る機会が増えているらしい…
- ・今までと違う活動でも、つながりをつくりながらだれかのサポートができないかな？



そんななか、生活支援コーディネーターとの関わりから新たな **きっかけ** が！



岡山県社協の広報誌で、もたえのさと分教会が紹介されていた。

それがきっかけで生活支援コーディネーターとつながりができた！

倉敷社協が取り組んでいる互近助パントリーと連携することで、できることが広がりそう！



楽しく作戦会議♪

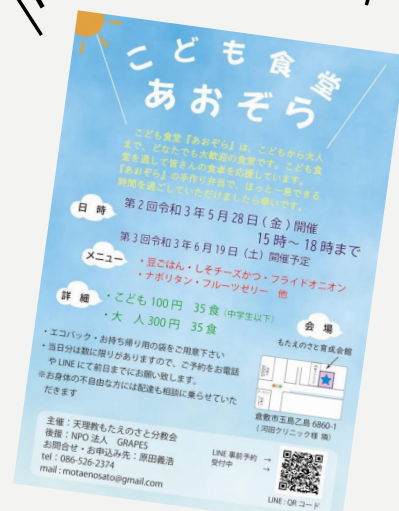
名前も「子ども食堂あおぞら」に決定！

アイデアやできることがたくさん！

- ・収穫した野菜や提供いただいたものを活用した料理は…
- ・季節感を取り入れて…
- ・子どもが喜びそうな工夫は？



公式ラインも
つくったよ！



子ども達も自分の
 のできることで
 活躍！



工夫・気を付けたこと

- ・季節を感じてほっと一息ついてもらう。
- ・出来ることで活躍してもらう。
- ・情報交換をしていいアイデアを共有する。



季節を感じて



折り紙で活躍



情報交換



利用する人の声

隣のおばあちゃん
にも届けるね



おいしかったよ！

今日は
楽しめます



何かお手伝い
できないかな？



やってみての感想…

- ・子ども食堂は貧困家庭だけに向けた活動じゃない。
- ・家族団らんのサポートにもなる。
- ・やってみると力を貸してくれる人がある！
- ・続けていくと、つながりがうまれる！

他の団体とのつながりも



楽しんで
お手伝い



ちょっとした
困りごと
の気



色々な協力



子ども食堂あおぞらのこれから

つながったから見えた
「小さな困りごと」のサポート…

コロナの様子を見て、ゆっくりと
交流ができる居場所づくりを…



チームオレンジ拠点 「ちょこっと亭」

ちょこっと亭 代表 臼倉 公子

ちょこっと亭運営のきっかけ

- ・ 認知症のグループホームや高齢者施設の運営に長年携わってきて、定年後何か地域に恩返し出来ないかな？
- ・ 民生委員定例会でチームオレンジのことを、地域包括ケア推進室の保健師から聞く。
- ・ 認知症の知識や資格を活かして“ちょこっと”何かできればいいな。
- ・ 「私のやりたいこと」、地域包括ケア推進室の小野保健師さんに連絡。
- ・ 自宅の庭や空き部屋を使って、実際にできるかどうかできるか相談をする。
- ・ 認知症カフェでもなく、ゆるく、ちょこっと認知症を知ってもらえれば何かできる？
- ・ ペット、犬1匹、猫5匹うまくいけば、癒し効果もあるかも？
- ・ 自身は、持病もあり、体調不良のときもあるけどぼちぼちならできるかも。

ちょこっと亭ってこんな感じに！

- ちょこっと 来て
- ちょこっと 話して
- ちょこっと 遊んで
- ちょこっと 相談して
- ちょこっと 気づけて
- ちょこっと 気が楽になって
- ちょこっと 肩の荷が軽くなる
- ちょこっと 何かできたらいいね♡



ちょこっと亭立ち上げに向けて

【メンバー】

認知症地域支援
推進員小幡さん

認知症マイスター

認知症マイスター
認知症の家族

代表者

生活支援
コーディネーター
松本さん

小野保健師さん撮影

【話し合ったこと】

- 長尾学区で、認知症の人やその家族に出会った経験ある？
- 長尾学区の認知症の人や家族が安心して暮らせるには、どんなことが必要だろうか？
- 私たちにできることって何？
気負わず、負担なく、ゆる〜く続けられることが大事だね。
気軽に立ち寄れるといいね。ちょこっと休憩もできる。
- 開催は、家族がいるので、生活やプライバシーに気をつけて可能な範囲で。

コロナ渦
自宅のガレージ
風が心地よい

作戦
会議
1回目

ちょこっと亭立ち上げに向けて

意向を
伝える

認知症の方とお話したり、押し付けないで、自由にやりたいことを支援できる環境にしたい。

自宅を少し開放して、近所の高齢者や認知症の人がちょこっと立ち寄れる雰囲気 にしたい。

認知症の人がちょこっと居場所になればいい。
庭で園芸や、ハーブティを楽しみたい。

協力者を
募る

- ・同じ小学校区に住む認知症マイスター3名に声かけ。
「手伝えることは限られるけど、一緒にできるよ！」
「うちの主人も認知症だから、場所ができれば一緒に参加したい。」
- ・生活支援コーディネーター松本さん積極的に参加、背中を押してもらう。
「なんでもお手伝いします。地域の中に居場所ができればいいですね。」
- ・高齢者支援センターのケアマネさんも参加、情報共有しましょうと提案。
「認知症でお困りの方、家族の人の話を聞いてもらえるとありがたい」
「このエリアに認知症の方、おられるので、連携していけるといいですね」

5

ちょこっと亭立ち上げに向けて

【話し合ったこと】

- ・ 認知症の本人って、拠点に来て、何がしたいのかな？
- ・ 認知症の当事者にも、役割があると、参加しやすいのかな？
- ・ 困っている認知症当事者や家族に、どうやったら拠点に来てもらえるだろう？
- ・ 足の問題で、拠点に来れない人にはどうする？
「出張型ちょこっと亭もできるといいね！」
- ・ 告知の方法は、口コミでぼちぼちでいいね。
- ・ 認知症のことを正しく理解してもらえるといいね。

当事者の思いは憶測で考えるのではなく、当事者に聞いてみる！

作戦
会議
2回目

ちょこっと亭の拠点整備の助け合い

自宅の庭を活用できないかな・・・

お庭で、お茶を楽しみながら、ゆったりお喋りできるといいな。

夏前にヘビが出て怖くて庭の手入れができていなくて。一人では大変だし・・・

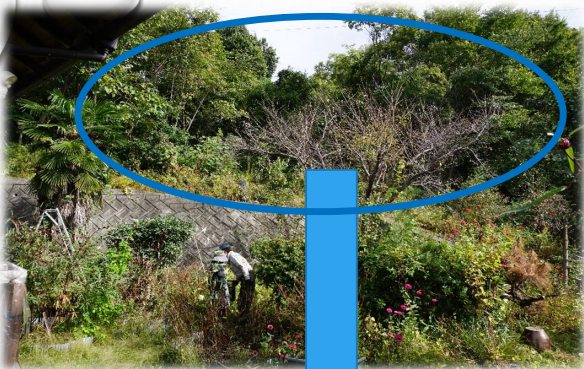
ちょこっと亭のみんなとハーブを育てる、園芸スペースができたらいいな。

今年は、暑くて体調も優れず、草と花が混然一体になって！どうしようもない。

生活支援コーディネーターの声かけで、真備支え合いセンターで繋がりのあった人たちが、ボランティアで集まって草刈り、お庭がきれいになりました。



7



8

ちよこっと亭お試しを開催

- Aご夫妻お試しでクラフトペーパー作成をしてみたい。
- ペーパークラフト四つ畳編みコースターを作成。
- とても気に入って、自宅作ってみたい、材料を持ち帰る。
- 二人で教え合って、作っている。
- その後、奥様だけお話に。
- ペーパークラフトできた作品を見せてくださる。
- 定例会以外にも来訪されて、ペーパークラフトで籠を作っ楽しんでおられる。
- 奥様とLINEで、お話ししたり時には一緒にお茶したりしている。



チームオレンジ拠点「ちよこっと亭」の初開催！



手先の細かい作業が好き。家でも楽しんで作成してるんだ。



一緒に手を動かしながら、家族の思いも聴いています。



今度、あそこになにを植えましょうか？

色々植えてみたいなあー



この日の、ご夫妻の笑顔、とても素敵



当事者の希望から、一緒にペーパークラフトを作り始めました。

チームオレンジちょこっと亭に参加したご当事者の様子



以前は、私がイライラしていると、イライラが伝わり、主人が怒鳴ることもあった。私も大きな声をあげることもあった。独りで、くよくよすることもあってお互いにストレスがたまる。

ちょこっと亭に参加するようになり・・・

笑顔のふたり



ちょこっと亭での時間が楽しくて。笑顔でいられる。ペーパークラフトを持ち帰って、夫婦で一緒に作る時間ができて、少し穏やかに過ごせる時間が持てるように・・・。
この籠を孫にも作ってやりたいと目標ができ、意欲的になった。「お風呂に入って」と言わなくても、自らお風呂に入ってくれるようにちょこっと亭に参加した後は、お互いに穏やかになれる。共感してくれる人がいることが、大切。犬のモカにに合うのが楽しみ。

11

「ちょこっと亭」二回目開催！



当事者の方の興味のある事柄から、庭の黒竹を使って、竹手ぼうき作り！



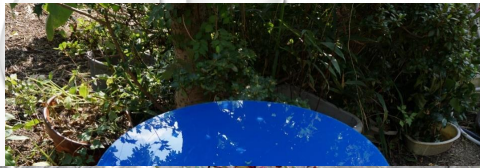


みんな楽しく
笑顔があふ
れています。



ローゼルティー
になります

今年はみんなで
種から育てます



庭のハーブを摘んで、ローゼルティを飲みました



モカちゃんも見てます

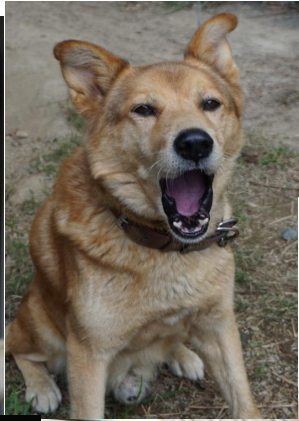
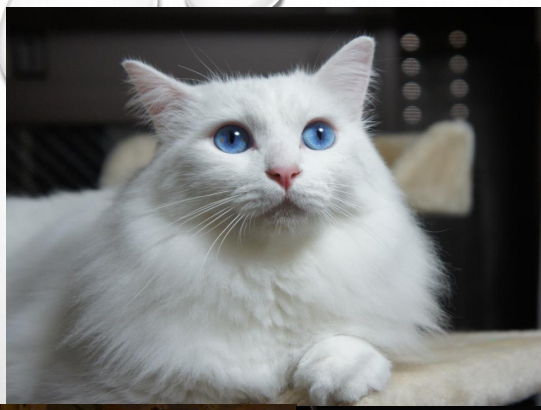
ローゼル
ジャムに
なります



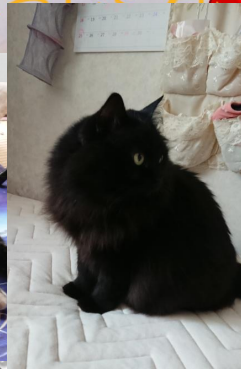


ちよこっと亭で大切にしていること

- 単なる居場所ではなく、“チームオレンジ拠点”としての「ちよこっと亭」
- 日々の不具合を一番感じているのは、当事者であることを忘れない。
- その不具合や困っていることを、当事者が「困っています」と言える、環境を作ってあげたい。認知症のご当事者と家族の思いに寄り添って。
- 認知症の人の、あるがままを受け入れて今できることを一緒にやっていく。
- 現有能力(現在持っている能力)を最大限引き出せるようにちよこっと支援
- できないことを数えないで、できることを認めて伸ばせるように。
- 決して無理をしない、できることを出来るときに、できる人がする。
- メモリーケアを重視して心にそっと寄り添う。



ワン一匹
ニャン5匹
家族です



地域支え合い活動事例集第二版 『笑うまちには福来る』完成しました。

元気な地域づくりの
ヒント集



市内64地区の地域に応じた
支え合いを写真と事例で
ご紹介！

倉敷市社協に配置された生活支援コーディネーターは、地域でのつながりや支え合いの仕組みづくりを応援する「つなぐ専門職」です。

毎年地域で出会った素晴らしい取り組みをたくさんの方と共有し、支え合い活動のヒントにしたいいただくことを目的にガイドブックや事例集を発行しています。令和4年3月に「地域支え合い活動事例集第二版『笑うまちには福来る』」が完成しましたので、これまで発行した冊子とあわせて、ぜひご活用ください。

地域支え合い活動事例集第二版『笑うまちには福来る』配布場所

- ①倉敷市社協・地域福祉課と各事務所
- ②倉敷市役所健康長寿課
- ③倉敷市社協ホームページから電子版のダウンロードが可能です。
URL <http://kurashikisyakyo.or.jp/>

【お問い合わせ】倉敷市社協 地域福祉課 TEL：434-3301



これまで作成したガイドブック・事例集もぜひご活用ください！

■くらしき「通いの場」ガイドブック



- ・市内306か所の通いの場情報を掲載
- ・立ち上げや運営の支援情報を掲載

平成29年発行

■地域支え合い活動事例集 「暮らし輝の支え合い」



- ・暮らしが輝く支え合い活動13事例を紹介
- ・活動を支援する情報も掲載

平成30年発行

■被災地発支え合い活動事例集 「豪雨ニモマケズ」



- ・平成30年7月豪雨災害の被災地で住民が紡いだ支え合いの軌跡

平成31年発行

■通いの場ガイドブック第二版 「毎日がかようび」



- ・どんどん増える地域の居場所！様々な集い方の事例紹介と556か所の通いの場情報を掲載

令和2年発行

■地域共生ガイドブック 「参画(△)はえん(○)になる」



- ・世代や立場の垣根を越えて地域が目指す共生社会へのあゆみを紹介
- ・あらゆる世代の相談窓口一覧表も掲載

令和3年発行

■被災地発支え合い活動事例集 「豪雨ニモマケズ」第二版



- ・被災から半年の地域の動きを紹介した第一版に続き、その後の真摯な地域の様子とこれからに向けた思いを掲載

令和3年発行

生活支援コーディネーターがつながります！

生活支援コーディネーターをご存知ですか？

生活支援コーディネーターは、別名「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、一人ひとりの元気な暮らし、支え合いの地域づくりを住民や関係機関と一緒に推進する「**つなぐ専門職**」です。

私たちの暮らす地域には、住民同士のつながりや関係性から生まれた、たくさんのお互いさまが存在し、暮らしの場に応じた「手づくりの支え合い」がたくさんあります。

地域の宝物である、人や文化や既存の取組を教えていただきながら、地域の一員として、「支え合いの地域づくり」を応援してまいります。

私たちが生活支援
コーディネーターです！

生活支援
コーディネーターは
「お節介」と
「安請け合い」で
元気な地域づくりを
しっかり応援する
職員です！



生活支援コーディネーター
は社会福祉協議会に配置
されています

倉敷市社会福祉協議会
☎086-434-3301



人と情報をつなぐ

これまでの
ガイドブック・
事例集は
こちらから



人と活躍の場をつなぐ



意識をつなぐ・心をつなぐ



人と人をつなぐ



人と居場所をつなぐ



人と支援をつなぐ